

登録コード	E8218300	開講年度	2026			
授業科目	自然地理学演習				担当教員	廣内 大助
英文授業名	Seminar in Physical Geography				副担当	内山 琴絵
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・5時限	対象学生
講義室	教育M304		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			【授業の達成目標】		
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観			自然地理学について理解を深める		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能			大学での学習・研究活動に不可欠な思考力、読解力、文章作成能力、ディスカッションおよびプレゼンテーション能力等について、その基礎を習得する		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	自然地理学分野に関わる文献講読と発表を行う 地理学、特に自然地理学分野に関わる文献（書籍、論文）を各自選定し、内容の発表を行う。					
(5)授業計画	第1回：ガイダンス 第2回：文献講読と発表 第3回：活断層研究史 第4回：地殻変動研究史 第5回：アメリカの活断層 第6回：ニュージーランドの活断層 第7回：ヒマラヤの活断層 第8回：東アジアの活断層 第9回：日本の活断層 第10回：プレート境界型地震と地形形成 第11回：パプアニューギニア 第12回：北米西海岸 第13回：日本の海成段丘地形 第14回：東日本大震災における地殻変動と地形変化（授業アンケート） 課題提出					
(6)成績評価の方法	自然地理学の理解度を測ることを目指した発表とその工夫・レジュメ提出(100%)により評価					
(7)成績評価の基準	課題文献の内容が解説できれば可、文献が引用する文献の内容まで含めた解説ができれば良、文献が提示する課題解決の方法まで提示できれば優、文献だけでは読み切れない応用課題まで提示できれば秀 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀、89-80% 優、79-70% 良、69-60% 可、59%以下 不可。					
(8)事前事後学習の内容	一週間前までに次週発表の論文内容がpdfでまわるので、それを熟読の上問題点を考えておくこと。また演習時の論文や議論について、復習しまとめておくこと。 事前の論文選定やレジュメ作成に10時間程度、事後報告準備に6時間程度を要する。					
(9)履修上の注意	自然地理学演習 と連続して受講することがのぞましい					
(10)質問，相談への対応及び連絡先	随時対応（M419研究室）					
【教科書】	特に指定しない					
【参考文献】	適宜指示する					